

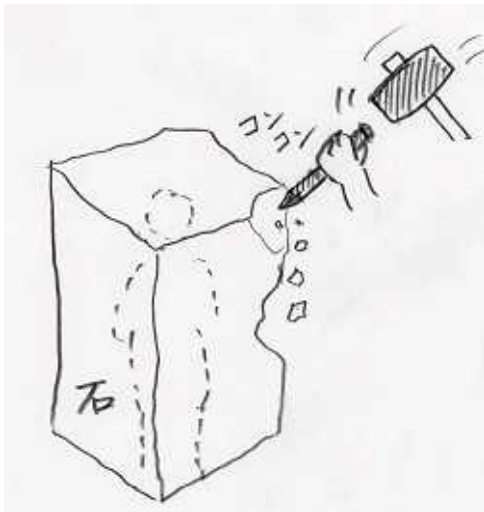
埼玉県立大学WEB講座

彫刻って？美術って？

社会福祉学科 准教授 酒井道久（美術）

A.ピアスの「悪魔の辞典」によりますと、「彫刻とは絵を見ようとして下ったとき、ぶつかる物」と定義してあったように思います。もともと皮肉っぽい解釈が売りの辞典ですが、この定義は見事です。展覧会によく行かれる方は、おそらくこのような状況を経験していると思います。幸いにぶつからなかったとしても、後ろにあるわけのわからない重そうな塊を避けながら、下がったことはあるのではないのでしょうか。私の専門である彫刻をこのようにあっさりと言っけなく定義をされては、腹も立ちそうですが、あまりにも端的で分かり易くて、ただただ感心してしまうほどです。彫刻とはそのように重くて地味で目立たなくて、それでいて大きな空間を占め邪魔になる、、、反論の余地もありません。

さて、みなさんは彫刻と言うとき彫るような仕草をしませんか？これは彫刻という字が、「彫る」「刻む」で表わされているようにどちらも削るような意味になるからだと思います。有名な「ミロのヴィーナス」(写真1)やミケランジェロの「ダビデ」などの大理石の彫刻、あるいはエジプト、メソポタミア、インカなどの古代遺跡に無数に見られる石の彫刻群、日本では明日香の「亀石」「猿石」などの不思議な石造物や法隆寺の百済観音、鎌倉時代の運慶、快慶の木彫などは、石や木の塊から削り出したものです(図1)。これを英語ではカーヴィングと言います。しかし、ロダンの「考える人」(写真2)や小学校の庭にある薪を背負った「二宮金次郎」像などのブロンズ像(銅像)は、もともと粘土で作り、それを石膏取りした後ブロンズに鋳造したものです。つまり、人物の形に木や針金で心棒を作り、粘土で形にしていくわけです(図2)。これをモデリングと言います。つまり、攻め方が全く逆になります。カーヴィングは削りすぎたらおしまいですから、慎重になります。モデリングは付けたり取ったり自由にできますが、以外にもこの自由が厄介で、行ったり戻ったりウジウジと神経戦になります。1日中ああでもないこうでもないという試行錯誤して結局、元の方が良かったということはしばしばです。



(図1) 石や木の場合 (Carving)



(図2) 粘土の場合 (Modeling)



(画像1) ミロのヴィーナス(カーヴィング)



(画像2) 考える人(モデリング)

ところで上野の西洋美術館にあるロダンの「考える人」は本物でしょうか？答えはイエス。「考える人」は日本だけでも数点あると思われます。静岡県立美術館ロダン館には「考える人」や「地獄の門」など西洋美術館と全く同じ作品が展示されています。世界中にはかなりの数の「考える人」が美術館近辺でいろんなことを考えていると思われます。それらはロダン美術館にある石膏の原型から鋳造されたもので、作者が著作権を持つ遺族や美術館の許可によってブロンズにされたものです。このように石や木と異なり、ブロンズは原型と許可さえあれば何点でもコピーでき、全部「本物」ということになるのです。ちょうど版画と同じで、7/20(20分の7)というような番号が作品の後ろか裏に刻印されています。これは20個鋳造を許可した中の7個目ということで、一般的には若い番号の方が「いいもの」ということになります。

さて、美術とか芸術というと「私、絵が下手で、」とか「高尚でなじめない」などと敬遠する人がいますが、実は皆さん日常生活では毎日アートしているのです。朝、鏡を見てお化粧(薄い厚いに関係なく)、何を着ようかとファッションの組み合わせ、部屋のカーテンや壁紙の模様替え、お弁当の彩り、、、一日中アートを楽しんでいるのです。写實的に描くことが苦手でも、いろんな機会に抽象的なデザインを試みており、美を感じているはず。つまり彫刻も絵画も美術館も実は大変身近なものなのです。

私の講義の中で美術館報告というのがあります。各自で私が指定した美術館の**常設展**(常設展は空いている)を見てきて「買って家に飾りたい作品」「タダでも欲しくない作品」などを贅沢三昧に報告するものです。美術館に初めて行く学生も多く、とてもよかったという感想がたくさん聞かれます。みなさんも是非気軽にトライしてください。

お薦めは以下の美術館の**常設**です

美術館	場所	入館料()は学生	参考
国立西洋美術館	上野	420(130)	ロダンのコレクションがすごい。動物園も近い
国立近代美術館	竹橋	420(130)	明治以降の日本の近代美術、北の丸公園を散歩も
ブリヂストン美術館	東京八重洲口	800(500)	エジプトから、印象派、ピカソなど名品多数
埼玉県立近代美術館	北浦和	無料	常設の数は少ない。椅子のコレクションで有名

以外と安いでしょ？